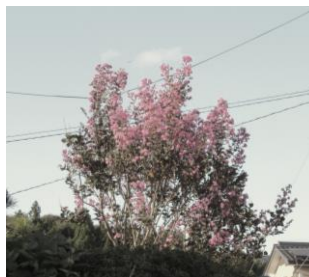


決算が全会一致で成立

9月25日、2019年度一般会計などの決算議案が全会一致で成立し9月議会閉会となりました。市立図書館条例改正案（指定管理者による管理）は継続審査となり、「消費税5%引下げ」請願は賛成少数で不採択となりました。

日本共産党市議団と藤倉議員の一般質問や予算等委員会等での活動についてお知らせします。



サルスベリ（百日紅）

9月議会報告

陸前高田市の新型コロナ対策

—事業者・農林漁業・障がい者・ひとり親など—

いち早く幅広く支援

健全財政だからできた

藤倉議員は、新型コロナ危機のもとで保健、医療、社会保障が政治の基本と主張。陸前高田市が国の支援策を待つことなく、最も大変な時に必要な支援として、4月中支援金の交付や、1次産業や障がい者施設、ひとり親世帯、奨学生など、きめ細かく幅広い支援策を実施してきたことを高く評価しました。同時に、その財源についても質問。黒沢財政課長は「市の財政調整基金が35億円あったため、それをもとに早く支援金を支給できた」と答えています。

『千年に1回』
『2日間589ミリ』

矢作川洪水
浸水想定

避難場所をもっと増やすべき 藤倉議員

矢作地区に説明された県の洪水浸水想定。下矢作の居住地域のうち約7割が0.5mから5.0mの浸水予想。藤倉議員は防災計画では津波に比べ洪水の場合の避難場所が少ないことを指摘。市防災課では安全な高台が少なく、自主防災で一緒検討する方針を示しました。

毎年の決算は黒字

一般会計の実質収支

年度	実質収支額
2011	36億円
2012	23億円
2013	38億円
2014	22億円
2015	4億円
2016	28億円
2017	29億円
2018	21億円
2019	18億円

※市の決算書より

●実質収支のうち2分の1を財政調整基金に積み立て。その残高は35億円になっています。

いつもお世話さます。

9月議会、私の活動を
お知らせいたします。

市議会議員 ふじくら たいじ

藤倉泰治



身体的距離確保と手厚い教育へ
20人の少人数学級を
新型コロナ感染症対策。市内の学校では1mのソーシャルデスタンスが取れない30人以上の学級が3学級あります。「この機会に現在の35人学級から20人の少人数学級」を求めています。

3才以上児は保育料無償化 保育士確保が課題

昨年10月から3才～から5才児は保育料無償化になりました。そのこともあって入所希望が増えています。

市では今後、各施設の保育士の確保がより大きな課題と答えています。

気仙・横田・矢作 分収林対策を

分収林はすでに伐期。高齢になっている役員のためにも、市として代表者会議の開催など、伐採などの相談体制を提案。

矢作、横田、米崎で 自家水の水道設備補助 3年半で43戸が利用

上水道未整備地域の自家飲用水施設整備への補助制度（8割補助、80万円上限）。平成29年度から始まり、3年半で43戸、補助額2千4百万円の実績となっています。

120万円台の事業費で井戸を掘っている事例も多くみられます。

横田の150戸に上水道整備

6年がかりの拡張工事が終わり昨年度から給水が開始されました。

2019年度の市道橋梁整備

●主な道路改良舗装（2019年度）

玉山線（竹駒・童子）／二又馬越線（矢作）／誂石線（気仙・神崎）／下矢作小線／仲の沢線（竹駒）／雪沢線（矢作）／上長部線（気仙・牧田）

●橋梁新設改良

誂石線誂石橋（工事中）
二又橋（矢作）県工事で完成